



あらゆる人と共に...



6月号
2025
vol.183

代表質問\3月定例会の結果\予算審査\議会報告会\高校生議会



※表紙紹介は裏表紙をご覧ください。

新連載
第1話
武ちゃんの
三田ごぼれ話


三田に有馬と付く場所が多いのはなぜ？

江戸時代、三田とその周辺の兵庫・大阪は「摂津の国」と呼ばれていました。明治になって三田の大部分と神戸・西宮の一部を合わせて「有馬郡」という新しい行政区画が設置され、郡の中心地だった三田に郡役所がおかれました。その後、有馬郡から三田市になりましたが、今でも市内には有馬の名が残った場所が多く残っているのです。

- ① 有馬高等学校
- ② 有馬富士
- ③ 有馬カントリークラブ
- ④ 有馬富士カントリークラブ

因みに有馬郡役所の建物はその後、九鬼隆一が日本初の私立博物館として1914（大正3）年に開設。しかし、1941（昭和16）年に博物館は廃止され市民活動の場として使用されたのでした。現在は駐車場になって三田博物館という石碑だけが残されており、すぐ前には旧九鬼家住宅資料館があります。

元三田文化協会会長
山口武宏



6月定例会は6月2日に開会予定です

6/ 2(月)	10:00~	本会議
6/ 3(火)	10:00~	予算決算常任委員会 経営政策分科会
	終了後	経営政策常任委員会
6/ 4(水)	10:00~	予算決算常任委員会 福祉教育分科会
	終了後	福祉教育常任委員会
6/ 5(木)	10:00~	予算決算常任委員会 生活地域分科会
	終了後	生活地域常任委員会
6/ 9(月)	10:00~	予算決算常任委員会 討論・表決
6/17(火)	10:00~	本会議 一般質問
6/18(水)	10:00~	本会議 一般質問
6/19(木)	10:00~	本会議 一般質問（予備日）
6/25(水)	10:00~	本会議 委員会審査報告・質疑・討論・表決


*上記予定は、変更する場合があります。最新の情報はホームページでご確認ください。本会議は市役所6階議場で、常任委員会は6階委員会室で開催予定です。

市民の皆さんからの相談をお待ちしています

次回の市政相談は
7月1日(火)です。

*やむを得ず日程が変更される場合がありますので、事前にご確認ください。

【相談場所】 市役所6階 委員会室
【相談時間】 午後1時から午後4時まで
1件につき50分
【申し込み】 6月25日（水）までに、申込書を議会事務局まで



議員と意見交換しませんか？

伺います さんだ未来トーク


★詳細はホームページをご覧ください。



表紙紹介 三田米の田植え

寒暖差の大きな気候のもとで清らかな水から育つ三田米は、粘り・つや・香りに優れ弾力があり美味しいと評判です。田植えは、5月初旬から6月中旬頃まで続き、昔ながらの手作業による田植え体験の授業を行う小学校もあります。

三田市在住のイラストレーター、
宮館みえりさんに描いていただきました。



三田市議会だより **こなぐ** 2025.6 vol.183

〒669-1595 三田市三輪2-1-1
TEL.079-559-5162 FAX.079-564-2992

✉ gikai_u@city.sanda.lg.jp

市議会に関することは何でもお気軽にご意見をお寄せください。

https://www.city.sanda.lg.jp/shisei_joho/gikai/index.html




広報委員会
[委員長] 肥後淳三 [副委員長] 水元サユミ
[委員] 坪之内幸司 福本愛 福田佳則 小山裕久

編集後記
6月は田植え後の稲が成長し、田んぼに緑が広がりはじめます。三田のお米は美味しいと評判で、ふるさと納税の返礼品としても人気です。農家の皆さんのおかげです。6月号は予算関係のため、盛りだくさんの内容となりました。(水元)


VEGETABLE OIL INK この広報紙は環境保護のため、植物油インキを使用しています。 25議8-029A4

☆☆ SNSで議会情報を発信中! ☆☆

You Tube
本会議の録画映像を公開しています。



Facebook
市議会の日程やお知らせなどを投稿しています。




質問

まちづくりや暮らしに関する制度、市が行う事業の執行状況や将来の方針について、議員が質問を通して市の見解を求め、主張・提言・指摘を行います。

3月定例会では、6つの会派を代表する各議員が代表質問をしました。
質問時間は、答弁を含めて、会派割(40分/会派)に人数割(10分/人)を加えた時間としています。
(創志会:100分、市民とともに・さんだの未来:80分、公明党・日本共産党三田市議団:70分、日本維新の会 三田:60分)



三田市議会会議録 検索

三田市議会ユーチューブチャンネル 検索

※本会議の録画映像を公開しています。

創志会

幸田 安司 議員



市民病院

新病院の整備による医療機能の向上は

議員 新病院基本計画では、病床数425床、診療科目35診療科、災害時対応のヘリポート設置を備えるなど、三田・北神地域の急性期医療に関する拠点病院にふさわしい計画が示されたと考えるが、将来にわたって市民の安全・安心に直結する医療機能の向上をどのように図っていくのか。

集中治療室25床の整備など、高度急性期医療の機能充実を図る

市 ICU、HCU、NICUといった集中治療室25床を整備し、高度急性期医療の機能充実を図るとともに、小児・周産期医療の充実を図る。また、心臓血管外科新設など35診療科を標ぼうし、脳神経外科の充実やがん診療機能の強化により、子どもから高齢者まで全世代の市民が安心して暮らせるまちづくりの基盤を整える。一般病床は全室個室とし、感染症への対応やプライバシー確保を図り、安全な医療と快適な療養環境を提供する。(田村市長)

説明
ICU：特定集中治療室
HCU：高度治療室(ICUと一般病床の中間に位置する治療室)
NICU：新生児集中治療室

まちの再生

フラワータウン地区の活性化に向けた再整備を

議員 フローラ88の閉店は地域にとって大変寂しく、今後、商業施設や多世代交流ができる公共公益施設の整備が期待される。新商業施設へ市民センターを複合化した場合、市の公共の場として利用できる規模は。

フラワータウン再生に関する基本合意書を締結

市 市、イオンリテール(株)、(株)北摂コミュニティ開発センターで、フラワータウン再生に関する基本合意書を締結し、イオンリテール(株)により整備される新商業施設への市民センター複合化を打診している。規模等は複合化決定後に協議するが、利便性とサービスの向上につながる今までにない素晴らしい施設になると確信している。(田村市長)

農業

三田の農業の未来のため、ほ場整備事業の推進を

議員 ほ場整備は、将来的に農業の生産性を高め、農地を担い手に集積し、営農継続につながる。多様な担い手確保に向け効率的な営農体系に変換するため、ほ場整備を推進し、大区画化を図る必要があるのでは。

持続的な農業発展に向け、農地の集積・集約化を進める

市 農地の再整備やパイプライン化などの基盤整備は、農業の生産性向上の観点からも有効な手段の一つであり、県と連携し、地域の課題や意向を丁寧に確認しながら、補助事業の採択要件の整理や事業メニューの検討を進めている。今後、必要に応じて権利関係者等の合意形成など積極的にサポートしていく。

(青野産業振興部長)

他の質問 ●三田の歴史・文化を継承していくことについて 他1件

市民とともに

肥後 淳三 議員



住民自治

真の住民自治移行に向け、条例制定と財源見直しを

議員 小学校区ごとにまちづくり協議会が設置されているが、従来の住民自治を担っていた区・自治会やPTA等のなり手が少なくなる中で、地域計画を策定し、地域の課題を自主的に解決できている地域が少ない。住民自治を発展させ、課題を解決するために、(仮称)コミュニティ条例の制定や地域の実情に応じた財源の見直しが必要では。

地域の自主性・創意工夫を尊重した支援を目指す

市 まちづくり協議会は、地域の団体間で連携・協力しながら活力ある地域のまちづくりを担う新たなコミュニティの仕組みとして設置を推進し、5つのまちづくり協議会が地域計画を策定済みである。さまざまな地域の状況や課題に応じて課題解決が図られているため、一律に条例で規定することは望ましくないが、ふるさと地域交付金は、他の補助金と併せて交付する包括交付金としての活用を促進していく。(田村市長)

学校給食

学校給食米の供給ルート等の見直しを

議員 令和7年度途中に学校給食の三田産米が確保できず県産米に切り替えると説明があったが、市内の生産者から直接取引することに加え、令和6年度に提供した環境創造米、さらに有機米を学校給食に提供できないか。

現行の仕組みで子どもたちに米飯を確実に届ける

市 三田産米の必要量を一部確保できない事態が生じているが、子どもたちに米飯を確実に届けるには現行の仕組みが最も適切であると考えられる。環境創造米や有機栽培米については、市の農業振興部門がJA等の関係機関と連携した取組を進めるとともに、給食への公費負担のあり方も含め検討する。(浅野学校教育部長)

説明
環境創造米：残留農薬が国基準の1/10以下など、ひょうご安心ブランド食品審査基準を満たす米

若者のまちづくり

若者が事業提案できるよう、条例の制定を

議員 若者に市政やまちづくりへの関心を高めてもらい、人口流出の抑制につなげるためには、現在の政策をもう一步前進させ、事業提案や予算化ができるよう、「若者のまちづくり条例」の制定が必要では。

若者のまちづくり検討会議で議論を進めたい

市 若者のまちづくり検討会議で、「若者のまちの未来を語ろう、考えよう」をテーマにワークショップを実施しており、当会議を「交流できる場・新しいアイデアが生まれる場」として活用し、若者のまちづくり条例の必要性についても研究していきたい。(西田副市長)

他の質問 ●さんだゼロカーボンシティの取組について 他3件



さんの未来

佐貫 尚子 議員



農業

農業を取り巻く諸課題への対策は

議員 地域計画策定の取組と今後の活用は。また、小規模農家や中古農業機械の補助対象化の支援も必要では。さらに、有害鳥獣被害も増加傾向にあり、対策強化と集落一体となった柵も設置すべきでは。

課題を把握し、地域と共に農業振興を進める

市 地域計画は、農会長等との面談や窓口相談での個別具体的な説明により理解を深めながら策定に取り組んできた。農地の集積・集約化や地域が目指す農業の実現に向け、農業委員会・県・関連機関等と連携し、必要となる支援を講じるなど有効活用を図る。また、新規就農者を含め小規模農家へ農業機械の更新等の支援を行っているが、中古の補助拡充についても調査研究を進める。有害鳥獣対策は、県事業を活用した集落ぐるみの対策に着手しており、地域の意欲的な被害対策への取組を支援する。

(青野産業振興部長)

市政

市長と市民との対話と関係構築を

議員 市長就任以来、市民病院の白紙撤回、トランプ大統領への純金トランプ贈呈、フラワータウン市民センター移設などの発言により市民の混乱や不信感を招くケースが見受けられ、場当たり的な発言と受け止められても仕方ない。市のトップとして市民への発言は慎重になるべきでは。

対話を重視し、市民目線、市民本位の市政を築く

市 市民目線、市民本位の市政を信条としており、市長タウンミーティングでの参加者との意見交換など徹底した対話を行っている。これまで発言してきたことにはそれぞれ意図があり、場当たり的なものではないが、意図が伝わるよう反省もしつつ、誤解を招かない発言をするよう努める。(田村市長)

子育て支援

助産所を開設し、選択肢を広げるべきでは

議員 出生数減少は危機的状況にあり、結婚、出産に対する思考も多様化しているが、市内で出産できる施設は市民病院1カ所のみである。選択肢を広げるためにも助産所を開設し、妊婦健診や産前産後ケアを強化することで、市民の安心につながるのでは。

安心して産み育てる環境づくりに努める

市 助産所開設にあたっては、嘱託する医師及び医療機関を定める必要があるが、小児科や助産師が不足する中、人材確保の課題もあり設置が難しい。今後は、さらなる情報提供と伴走型支援により、安心して産み育てる環境づくりに努める。(田村市長)

他の質問 ●三田国際マスターズマラソンの抜本的な見直しについて

公明党

大西 雅子 議員



財政

将来への財政負担の考え方は

議員 6つの無料化実施に反対ではないが、市財政収支見通しでは、令和7年度からの10年間で約93億円の収支不足が見込まれ、新病院整備費の返済に備えた毎年3億円の積み立てや大規模事業費が必要となる中、継続的に事業を進めていくことができるのか。また、高齢化が進む中、介護予防や健康寿命の延伸に向けた取組も必要では。

責任を持って継続的に取り組んでいく

市 人口減少や少子高齢化が進む中、まちの魅力を高める取組を推進しなければ、地域が衰退してしまう。6つの無料化は他の施策よりも優先的に取り組むべき施策であり、「こどもを核としたまちづくり」の中心的な施策として責任を持って継続的に取り組んでいく。また、高齢者が生涯現役で生き生きと過ごせるよう、引き続き介護予防の取組や元気ある健康づくりを進めていく。(田村市長)

公共施設

少子高齢化を見据えた公共施設の最適化を

議員 廃止施設の跡地活用は、地域のシンボル、民間活力を生かしたまちのにぎわい、地域活性化等につなげる取組が必要である。また、新たな施設の整備や改修の際に、今までにない多様な機能を兼ね備えることで、さまざまな効果が期待できるのでは。

公共施設の最適化を強固に進めていく

市 地域の拠り所でもあった施設やその跡地は、全体最適の視点だけでなく、地域の課題解決や活性化等に生かせるよう地域と共に考えていく。また、施設整備や大規模改修を新たに計画する際は、複合化や複合運営等を検討し、公共施設の最適化を強固に進める。(田村市長)

環境

家庭から排出される廃食用油のさらなる活用を

議員 地球温暖化による大規模災害が多発し、CO₂削減の取組が必須となる中、廃食用油は家畜の配合飼料や石鹼への再資源化だけでなく、SAFの原料としての活用が進んでいるが、市でもSAFに向けた取組ができないか。

回収量の拡大や周知啓発に努める

市 廃食用油を石鹼などへリサイクルする取組を実施しており、市内3店舗に回収ボックスを設置している。今後は、SAFへの活用も見据え、廃食用油の回収店舗数増による回収量の拡大や、ごみ減量へとつながる市民への周知啓発に努める。(横溝市民生活部長)

他の質問 ●ニュータウンの再生事業について 他1件

説明 SAF：廃棄物などを原料として製造される環境負荷を軽減した持続可能な航空燃料



日本共産党三田市議団
長尾 明憲 議員



市民病院 市民に多額の負担を強いる新病院建設は撤回を

議員 総事業費は、新病院基本構想時から倍以上の700億円超に膨れ上がり、さらに増える恐れもある。周辺道路の整備や交通など関連事業も含めると、市民負担は相当なものとなる。国からの交付金も基本構想でいわれた40%も交付されず、前提条件が基本構想時から大きく変わっているにも関わらず市民に是非も問うていない。このような新病院基本計画は撤回し、再編統合を中止すべきでは。

地域医療を守り抜く覚悟で再編統合を推進する

市 整備費は、物価上昇の状況や動向を見据え、約521億円としており、それに対し、市税負担は198億円を想定している。今後の協議において、可能な限り事業費の抑制に努めていきたい。建設費の高騰という課題はあるが、将来にわたって地域医療を守り抜く覚悟を持ち、再編統合を推進していく。

(喜多地域医療推進担当部長)

市民病院 新病院基本計画の是非を市民に問うべき

議員 基本構想と基本計画では大きく中身が変わっており、国の交付税は30%ほどしか交付されず、利息や医療機器の更新で費用もさらに増大する。際限なく税金を投入し続け、市の財政を圧迫したらどうするのか。せめて一度も問うてない統合の是非を市民に問うべきでは。

市民説明会を開催し、丁寧な説明を行う

市 市民の意見を聞く手続きは何度も実施している。新病院基本計画については、市民説明会を開催し、丁寧な説明を行う。その中で、命に直結する取組である新病院の整備を着実に進めていかなければならない時期に来ていることを十分に説明する。(喜多地域医療推進担当部長)

市政 市民の声を反映させる市政運営を

議員 市政運営において、市民の声が反映されない、もしくはできない状態が散見される。物事を決めた後に市民の声を聞くふりをするのではなく、しっかりと順番や手法を見直し、市民の声が生かされる市政運営をすべきでは。

市民目線と対話を重視し、取り組んでいく

市 政策事業などの実施や見直しにあたっては、市民にとってどのような説明等が必要なのか、また、どのように声を聴く方法が最適なのかなど、個別具体的に判断しながら実施してきた。今後も市民目線と対話を重視し、創意工夫しながら取り組んでいく。(西田副市長)

他の質問 ●学校のあり方について

日本維新の会 三田
福本 愛 議員



校外学習 万博子ども招待プロジェクトの推進を

議員 県の万博子ども招待プロジェクトに参加を希望する学校が少数にとどまっている要因として、安全管理や熱中症対策への懸念などが考えられるが、国際博覧会推進本部は課題に応じた対策の情報発信を進めている。大阪・関西万博は、子どもたちにとって貴重な学びの場であり、教育委員会として学校や保護者の懸念を解消し、適切な判断ができるよう努めるべきでは。

大阪・関西万博開幕後、積極的な周知を図っていく

市 これまでも情報提供を行いながら各学校が考える懸念事項の払拭に向け対応してきたが、開幕前で下見ができず、児童生徒が安全安心に活動できるような計画を立てられないために各学校が不安に思うことは容易に想像できる。開幕後に具体的な内容が明らかとなり下見が可能となつてから、教育委員会を通して新しい情報の積極的な周知を図る。(西田副市長)

健康福祉 休日応急診療センターの体制改善を

議員 年末年始の受診予約の体制改善を求める市民の声が多数寄せられているが、感染症流行期など、患者増が見込まれる場合の診療体制はどうなっているのか。また、市としてどのように課題を認識し、解決に向けて取り組むのか。

診察予約システムの導入を検討する

市 年末年始は患者が予想を超え増加したことから職員の増員などにより対応した。電話がつながりにくい状況は課題として認識しており、今後、診察予約システムの導入を検討している。電話対応と併用することで、すべての市民に対応できるよう取り組む。(入江健康福祉部長)

学校教育 学校徴収金、保護者と教職員の負担軽減を

議員 学校徴収金の支払いに際し、指定銀行の口座開設や入金管理が保護者の負担となっている。また、入金忘れによる未納により、教職員の確認作業の負担も増加している。保護者・教職員双方の負担軽減に向けた改善が必要と考えるが、市の見解を伺う。

情報を収集しながら包括的な改善策を模索する

市 民間サービスや全国の取組事例について引き続き情報を収集しながら、保護者の利便性の向上、教職員の負担軽減に向けた包括的な改善策について、引き続き模索していく。

(浅野学校教育部長)

他の質問 ●子ども医療費無料化実施に伴う影響と課題について 他1件





詳しくはこちら

全議員が賛成した議案

予算 令和6年度一般会計補正予算（第9号） など予算案件11件

条例 子育て支援のための医療費の助成に関する条例の一部改正 など条例案件19件

その他 こども計画の策定 事件決議1件、教育委員会教育長の任命同意 など人事案件2件、市議会委員会条例の一部改正 など議員提出議案3件

議会内容等の詳細は、三田市議会ホームページの「審議予定・結果」をご覧ください。

賛否が分かれた議案・請願 (福田秀章議員は、議長のため表決に加わりません)

賛成：○ 反対：×

議員名	創志会		さんだの未来		市民とともに		公明党		日本共産党三田市議団		日本維新の会三田		結果							
	幸田安司	今北義明	小杉崇浩	坪之内幸司	假屋浩司	佐貴尚子	中田哲	関口正人	小山裕久	肥後淳三	橋本維文	山崎文		大西憲司	大西雅子	福田佳則	村手秀樹	長尾明憲	水元サユミ	木村雅人
予算	令和6年度市民病院事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成18人 反対3人 可決						
	令和7年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成18人 反対3人 可決						
	令和7年度国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成18人 反対3人 可決						
	令和7年度市民病院事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成18人 反対3人 可決						
条例	総合文化センター条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成18人 反対3人 可決						
	多世代交流館条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成18人 反対3人 可決						
	乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成18人 反対3人 可決						
	総合福祉保健センター条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成18人 反対3人 可決						
	国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成18人 反対3人 可決						
	高平ふさと交流センター条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成18人 反対3人 可決						
	市民センター条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成18人 反対3人 可決						
	ふれあい創造の里条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成18人 反対3人 可決						
	まちづくり協働センター条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成18人 反対3人 可決						
	有馬富士共生センター条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成18人 反対3人 可決						
	心道会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成18人 反対3人 可決						
	ガラス工芸館条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成18人 反対3人 可決						
	有馬富士自然学習センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成18人 反対3人 可決						
	都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成18人 反対3人 可決						
	決議案	議案第7号令和7年度一般会計予算に関する附帯決議の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成18人 反対3人 可決					
議案第13号令和7年度市民病院事業会計予算に関する附帯決議の提出について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成18人 反対3人 可決						
請願	厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成19人 反対2人 可決						
	市民病院の病床稼働率の実態調査を求める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	賛成3人 反対18人 不採択						
	市民病院の脳神経外科の実態調査を求める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	賛成3人 反対18人 不採択						
	市民病院の内科及び診療科間の連携の実態調査を求める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	賛成3人 反対18人 不採択						
	市民病院の分娩機能の実態調査を求める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	賛成3人 反対18人 不採択						
	市民病院職員の人員費比率10%削減中止を求める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	賛成3人 反対18人 不採択						
	市民病院統合再編基本計画説明会に済生会の出席を求める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	賛成3人 反対18人 不採択						
	市民病院職員全員の分限免職中止を求める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	賛成3人 反対18人 不採択						
市民病院の入院・外来単価の引き上げにならないように求める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	賛成3人 反対18人 不採択							

賛否が分かれた議案・請願



議案第6号 令和6年度市民病院事業会計補正予算（第2号） 議案第17号 総合文化センター条例の一部を改正する条例の制定について

内容 第6号は令和6年度市民病院事業会計予算を補正するもの、第17号は受益者負担の基本的な考えに基づく使用料等の見直しにあたり条例の一部改正するもの

可決
賛成18名
反対3名

反対討論

議案第6号について、働き方改革のための事務員配置は評価するが、病院の再編統合に反対であり、再編統合を進める補正予算は認められないため、反対。

議案第17号について、受益者負担の基本的な考えに減価償却相当額を含めており問題がある。また、公共施設の使用料はなるべく安くすべきで、利用者の意見を聞かず、一方的に1.5倍もの大幅な値上げを行うことは問題と考える。さらに、施設の設置目的の達成や役割の発揮にも支障を来すため、反対。

(日本共産党三田市議団 長尾明憲)

賛成討論

議案第6号について、新病院整備候補地基礎調査などの委託業務において既決予算に変更が生じた事業費を計上しているもので、市民の命を将来にわたって守り抜くための再編統合を進める上で必要不可欠であるため、賛成。

議案第17号について、受益者負担の適正化に向けた取組で、利用者を利用しない者との負担の公平性の観点からも必要であり、激変緩和措置によって市民生活や利用減退に対する配慮もなされているため、賛成。

(創志会 小杉崇浩)



議案第7号 令和7年度一般会計予算 議案第8号 令和7年度国民健康保険事業特別会計予算 議案第13号 令和7年度市民病院事業会計予算

内容 令和7年度の各会計予算を計上するもの

可決
賛成18名
反対3名

反対討論

議案第7号について、ふるさと納税の歳入額5億円は、令和6年度の見込み3億円との乖離が大きく、実績を基に予算立てをすべき。解放学級事業は、同和問題だけ特別に地域を限定し、市税を使って行うことは問題である。こども誰でも通園制度プレ事業は、乳幼児等通園支援事業が前提であり、本格実施時には面談や保育士資格で問題が生じる恐れや、子どもの安全確保・保育士負担等の問題がある。また、市民に是非を問うていない病院統合は中止すべきで、将来にわたり莫大な整備費のかかる市民病院の再編統合を進める予算が含まれているため、反対。

議案第8号について、国保税の引き上げは、物価高騰による厳しい市民生活にさらなる追い打ちをかけることとなり、本来ならば国が大幅な財政支援を行い、県標準保険料率の引き下げこそ求めるべきであるため、反対。

議案第13号について、市民病院の再編統合及び指定管理者制度の導入に反対であり、それらの関連予算が含まれているため、反対。

(日本共産党三田市議団 水元サユミ)

賛成討論

議案第7号について、解放学級事業は、多様性を認め合い支え合う共生のまちづくりを進める上で、あらゆる差別の解消に向けた学習活動として継続した取組が必要。こども誰でも通園制度プレ事業は、試行実施による課題の的確な把握や整理など、安全・安心な本格導入に必要。「こどもを核としたまちづくり」を本格化する予算と位置付け、6つの無料化も予算化されており、特に持続可能な事業となるための安定財源の確保が求められるなど、今後の財政運営に十分な留意が必要であるが、一定理解のできる内容であるため、賛成。

議案第7号及び議案第13号の新統合病院に関する予算について、救急医療を中心とする急性期医療を将来にわたって堅持し、充実させるための取組を進める上で必要不可欠であるため、賛成。

議案第8号について、令和7年度の税率改定にあたり、基金を約9,134万円取り崩すことで税率の上昇幅を抑制し、被保険者の負担にも十分配慮されたもので、高齢化により増大傾向にある医療費を適切に見積もっているため、賛成。

(市民とともに 橋本維文)



内容

第28号はこども誰でも通園制度プレ事業実施にあたり条例を制定するもの、第31号は税率改定に係る規定整備にあたり条例を一部改正するもの、第27号・第30号・第33号から第40号・第46号は受益者負担の基本的な考えに基づく使用料等の見直しにあたり条例を一部改正するもの

反対討論

議案第28号について、こども誰でも通園制度は、自由利用における情報共有やならし保育の対応等の問題があり、今ある保育制度において親の就労要件を見直し、質のよい保育を保障すべきであるため、反対。

議案第31号について、物価高騰で市民生活が厳しくなる中、県標準保険税率の引き下げを求めるべきであり、反対。

議案第27号・議案第30号・議案第33号から議案第40号・議案第46号について、利用者の意見を聞かず、一方的に使用料の大幅な値上げを行うことは問題であり、激変緩和措置を適用しても現行使用料の1.5倍と市民負担が大幅に増え、施設の設置目的の達成や役割の発揮にも支障を来す。受益者負担の考え方自体にも問題があり、市民活動に参加する権利を保障し、公益性が担保される条件を整えることが行政の役割である。また、総合福祉保健センターの営利目的利用は設置趣旨にそぐわないため、反対。

(日本共産党三田市議団 長尾明憲)

- 請願第2号 市民病院の病床稼働率の実態調査を求める請願
- 請願第3号 市民病院の脳神経外科の実態調査を求める請願
- 請願第4号 市民病院の内科及び診療科間の連携の実態調査を求める請願
- 請願第5号 市民病院の分娩機能の実態調査を求める請願
- 請願第6号 市民病院職員の人件費10%削減中止を求める請願
- 請願第7号 市民病院統合再編基本計画説明会に済生会の出席を求める請願
- 請願第8号 市民病院職員全員の分限免職中止を求める請願
- 請願第9号 市民病院の入院・外来単価の引き上げにならないように求める請願

内容

(請願者) 三田市民病院をまもる会 代表 東浦徳次氏、松岡信枝氏、長谷川美樹氏、松原慶子氏、段林正樹氏、藤井裕子氏、岩郷壽夫氏、湊圭子氏
(趣 旨) 第2号から第5号は市民病院の実態調査を求めるもの、第6号は人件費率10%削減中止を求めるもの、第7号は基本計画説明会に済生会兵庫県病院の出席を求めるもの、第8号は分限免職中止を求めるもの、第9号は入院・外来単価が引き上げにならないよう求めるもの

賛成討論

請願第2号について、病床稼働率は改善傾向であるが依然として低く、今後も向上に向けた取組が必要であるため、賛成。

請願第4号について、市民に寄り添う医療機関でなければならず、接遇や連携の実態調査が必要であるため、賛成。

請願第5号について、市民に出産の場所として選ばれるには無痛分娩などの選択肢増や食事改善などが必要で、調査・分析を行い対策すべきであるため、賛成。

請願第6号について、市民に是非を問うていない再編統合に反対であり、職員数削減への懸念も払しょくできないため、賛成。

(日本共産党三田市議団 水元サユミ)



賛成討論

議案第28号について、こども誰でも通園制度の安全・安心な本格導入に向け、全国導入より1年前倒して試行的に実施し、課題を的確に把握するため、賛成。

議案第31号について、令和7年度の税率改定にあたり、基金を約9,134万円取り崩し税率の上昇幅を抑制するなど、被保険者の負担にも十分配慮された適正な改正であるため、賛成。

議案第27号・議案第30号・議案第33号から議案第40号・議案第46号について、各施設のサービス内容に応じた受益者負担割合の設定や近隣他都市の状況等も踏まえた見直しで、より実態に即した内容となり、激変緩和措置によって市民生活や利用減退に対する配慮もされている。また、営利目的利用の対象施設の拡大は、稼働状況改善の観点からも重要。使用料の見直しは、受益者負担の適正化に向けた取組で、利用者とならない者との負担の公平性の観点からも必要な措置であるため、賛成。

(創志会 坪之内幸司)



反対討論

請願第2号について、すでに効果的な対応策がとられ令和6年11月以降の病床稼働率は改善傾向であるため、反対。

請願第3号について、大学医局への積極的な招へいなど医師確保の対策を講じているため、反対。

請願第4号について、より専門的な診療科への院内での紹介対応や、職員のホスピタリティ向上の取組を行っているため、反対。

請願第5号について、分娩機能の維持と各種取組により、分娩者獲得の努力がなされているため、反対。

請願第6号について、人員整理や大幅な賃金引き下げを前提とするものではなく、病床稼働率の向上等による医業収益増により令和8年度の人件費比率53.7%を目標に取り組むことから、反対。

請願第3号について、医療体制の確立ができておらず、外来・入院患者が大幅に減少し、救急患者の受け入れもできない状態では市民の命を救うことができないため、賛成。

請願第7号について、済生会兵庫県病院は新病院の運営予定者で、令和8年4月から市民病院の指定管理者でもあり、どのような経営方針・経営計画において、どのような医療機能・医療体制のもと運営するのかなど、直接、説明を受けたいと求めることは当然であり、賛成。

請願第8号について、人材流出により医療機能を維持できなくなる事態になりかねないため、賛成。

請願第9号について、必要以上の検査等で単価が上がり、患者負担が増えるようなことがあってはならないため、賛成。

(日本共産党三田市議団 木村雅人)

請願第7号について、基本計画説明会は設置者である三田市が市民に対し実施するもので、新病院の指定管理者を指定する議決時期に改めて済生会兵庫県病院に意見をいただく場を設定したい旨の説明があったため、反対。

請願第8号について、職員一人一人と丁寧に面談し、概ねの納得を得ていることに加え、再編統合を進める上で締結した基本協定等に基づく事業推進にあたり、分限処分の中止は適切でないため、反対。

請願第9号について、単価は診療報酬として全国一律で定められているため一病院で設定できず、引き上げはできない前提のもと、不必要な検査などで収入を伸ばすことがないよう市の確認対応などを依頼し、反対。

(市民とともに 大西憲司)

附帯決議を可決

令和7年度一般会計予算・市民病院事業会計予算に関する附帯決議 子育て支援のための医療費の助成に関する条例の一部改正に対する附帯決議

令和7年度一般会計予算に関する附帯決議及び令和7年度市民病院事業会計予算に関する附帯決議を賛成多数で可決しました。(各議員の賛否は8ページをご覧ください。)

また、子育て支援のための医療費の助成に関する条例の一部改正に対する附帯決議を全会一致で可決しました。

決議案第2号「議案第7号 令和7年度一般会計予算に関する附帯決議」

「6つの無料化」事業のうち、特に「子育て支援医療費助成事業」及び「中学校給食の無料化事業」は、3月定例会における議会の意見を真摯に受け止め、継続性に重点を置き、財源を精査するとともに、予算執行にあたっては以下の事項について、執行機関内でしっかりと問題意識を共有し、十分に配慮した取組を進めるよう強く求めるもの。また、総合政策部地域医療推進担当所管職員の人件費の支出に際して、一般会計予算及び市民病院事業会計予算の所管業務に応じて適切に対応するよう求めるもの。

- 「6つの無償化」にかかる施策については、持続可能な事業とするため、安定財源の確保に努めること。
- 子育て支援医療費助成事業及び中学校給食の無料化事業が一般財源全体に与える影響を十分に考慮し、高齢者福祉支援等その他の施策にも配慮した健全な財政運営に努めること。
- 中学校給食の無料化実施後も子どもたちの健やかな成長を支えるため、市直営を堅持し安全安心で質の高い給食の提供に取り組むこと。
- 学校給食無償化に関する国の検討状況等その動向を踏まえ、幼稚園・小学校においても国に先駆けて無償化に取り組むこと。
- 広報等により市民へのわかりやすい情報発信を行うなど幅広い市民理解を得るよう努めること。

決議案第3号 「議案第13号 令和7年度市民病院事業会計予算に関する附帯決議」

総合政策部地域医療推進担当所管職員の人件費の支出に際して、一般会計予算及び市民病院事業会計予算の所管業務に応じて適切に対応するよう求めるもの。



附帯決議：可決された議案に対して、事業を執行する上での要望や留意事項を述べるために提出されるもの。法的な拘束力はないが政治的に尊重されるべきものとされている。

決議案第4号 「議案第32号 子育て支援のための医療費の助成に関する条例の一部改正に対する附帯決議」

過去に所得制限なしの中学生までの医療費無料化を実施していたが、一部有料化に見直した経緯もあり、再度の無料化の実現後に見直しとなり市民の信頼を損なう事態とならないよう持続可能な事業とするため、安定財源の確保を強く求めるもの。

予算決算常任委員会 新年度予算案を厳しくチェック! ✓

令和7年度の予算について審査しました

一般会計 471億3,500万円

総額 912億1,513万円

※総額のうち

特別会計 225億1,710万円 企業会計 215億6,303万円

「こどもを核としたまちづくり」を本格化する予算と位置付け編成された新年度予算。さまざまな事業が盛り込まれています。三田市議会では、3月定例会会期中に、新年度予算を審査する予算決算常任委員会を開催しました。委員会で審査した内容の一部をご紹介します。

令和7年度予算の重点施策「6つの無料化」

妊娠から子育て期まで切れ目のない支援を行い、将来を担う子どもたちの健やかな成長を支え、地域社会の基盤づくりを図ります。

- | | |
|---|--|
| 1 不妊治療ペア検査助成事業 88万円
夫婦そろって受ける医療保険適用外の検査費の助成 | 4 1か月児健康診査実施事業 387万円
1か月児健康診査にかかる費用の助成 |
| 2 不育症治療支援事業 200万円
医療保険適用外の治療費等の助成 | 5 中学校給食の無料化 1億4,738万円
中学校給食の完全無料化 |
| 3 新生児聴覚検査推進事業 260万円
新生児聴覚検査にかかる費用の助成 | 6 子育て支援医療費助成事業 5億3,385万円
高校生期までの全ての子どもの医療費の完全無料化 |



新年度予算 PICKUP! 各分科会や統括質問での審査内容をQ&A方式で紹介しします! = 議員 = 市

中学校給食の無料化

- 今後、コストカットに伴う栄養摂取基準の低下が懸念されるが、給食だよりに栄養摂取基準の掲載は考えているか。
- 市の学校給食費は条例で1食当たりの金額を定めており、引き続き栄養摂取基準を満たす食材が購入できる金額を条例で設定すべきと考えている。給食だよりに栄養摂取基準は掲載していないが、今後も同基準を満たすことができる金額を確保する中で取り組んでいきたい。



子育て支援医療費助成事業

- 持続可能な事業と判断した上での医療費無料化か。財政運営が厳しくなり、数年で見直すことはないか。
- 最新の人口推計結果からも、三田市として存続するためには少子高齢化の加速を止めなければならない。持続可能な制度として政策判断しており医療費無料化を進める。今後想定される約93億円の収支不足は、公共施設のダウンサイジングや公民連携事業を進めながら、財政全体の中で整理を図っていく。



三田市財政収支見通し

令和7年度から令和16年度までの10年間で約93億円の収支不足が見込まれ、令和17年度からは新病院整備による財政負担も増大するが、収支安定となる時期をいつと見込んでいるか。

収支見通しは、市税の動向、物価上昇、社会保障経費の伸び率等のさまざまな要因に左右され、現時点で安定する収支時期の予測は困難である。令和7年8月に公表する「三田市未来への財政ロードマップ」に基づき、歳出削減や歳入増加等による収支を安定させるための取組を進める。

ありがとう！三田っ子応援寄附金(ふるさと納税)

ふるさと納税による歳入が5億円計上されているが、令和6年度の好調な実績を踏まえても目標額が過大では。

令和6年度後半に納税額が急増した要因は、SEO対策や検索ワード対策、効果的なウェブ広告等で納税者の注目を集め、かつ米の定期便を導入し、他市町比でも人気を博した点にある。これらの取組の継続に加え、他品目への定期便拡大の検討、リピーター確保の施策、市長によるトップセールスの継続等により予算額が確保できると見込んでいる。



説明 SEO対策：検索エンジン最適化を意味し、検索結果で上位に表示させるために施策を行うこと。

新統合病院基本計画等策定事業

新統合病院の基本設計基礎調査業務受託事業者が、新統合病院基本設計・実施設計策定事業のプロポーザルに参加可能なのは、公平性や透明性の面で問題では。

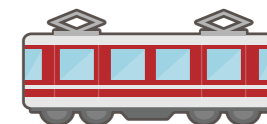
基本設計基礎調査は予定地が三田市域でないこと、大規模な造成を伴うこと、市街化調整区域であることを踏まえ、設計に必要なさまざまな条件を整理するもので、契約候補者選定では成果物を全てのプロポーザル参加事業者公開するため条件上は平等であり、審査会は外部委員で構成され公正性が保たれることなどから問題はないと考える。



高齢者外出支援

高齢者運賃助成事業の対象交通機関は神戸電鉄・バス・提携タクシーに限定されているが、今後、地域内交通にも助成対象を拡大する考えはあるか。

高齢者の外出支援施策として、ハード面では地域内交通など移動手段の拡充、ソフト面では運賃助成などを行ってきたが、移動負担の減に向け、包括的な支援となるよう検討していく。



ニュータウン再生事業

令和6年度予算額と比べて減額されているが、事業内容は。

令和6年12月に、イオンリテール(株)、(株)北摂コミュニティ開発センターと包括連携協定を結び、事業のシフトチェンジを行うこととなり、一旦、まちづくりプレーヤー事業やフラワータウン活性化に関する実証実験について機能の見直しを行うため減額している。具体的に事業を具現化し、新たな企画を年度途中の補正予算計上を含めて実施していく予定である。

審議の結果は…



予算決算常任委員会では、採決の結果、一般会計予算・国民健康保険事業特別会計予算・市民病院事業会計予算について、反対の意見がありましたが、賛成多数で可決しました。また、採決後に提出された一般会計予算及び市民病院事業会計予算に関する附帯決議について、賛成多数で可決しました。

その後の本会議においても、それら予算案について賛成多数で可決し、その他予算案は全会一致で可決しました。また、附帯決議についても賛成多数で可決しました。(附帯決議の詳細は11ページをご覧ください。)

議会報告会・意見交換会を開催

市民の皆さんのご意見を生かします



市議会では、4月19日、20日に三田市役所6階委員会室において議会報告会・意見交換会を開催し、19名が参加されました。当日は、議員がプロジェクターを使って、令和7年度予算の内容や審査内容を説明後、参加者の皆さんからのご意見・ご提案について、意見交換を行いました。意見交換会でいただいたご意見のうち、一部をご紹介します。なお、いただいたご意見等は今後とりまとめホームページ等で公開する予定です。

4月19日(土) 10時~11時30分

【出席議員】(班長) 幸田安司(副班長・司会) 福田佳則
関口正人、木村雅人、坪之内幸司、大西憲司、長谷川良果



テーマ

本庄、上青野地区にバスの本数、停留所が少なく、通院等日常の移動に非常に困っている。対応について検討してほしい。

運転手不足、収支不足などの理由により、バス事業者が減便や廃線を判断している。上青野地区は令和7年度、本庄地区は同8年度にバス路線が廃止になるが、市と地域の共創で、代替交通手段として乗合タクシーの実証実験を予定している。今後も地域住民と意見交換しながら地域内交通の検討、推進を市に求めていく。

4月20日(日) 10時~11時30分

【出席議員】(班長) 大西雅子(副班長・司会) 佐貫尚子
飯後淳三、水元サユミ、福本愛、山崎文、假屋浩司



テーマ

全国的に介護施設の閉鎖やケアマネジャー含む介護職の負担増により人手不足が課題となっている。今後も三田市で安心して住み続けられるための市の対応は。

議会としても介護報酬の改善やスキルアップ支援、介護職の魅力発信など、人材確保につながる国への要望や健康寿命延伸の取組など、現場の声を聞きながら今後も安心して暮らせる環境づくりを市に求めていく。

4月20日(日) 13時~14時30分

【出席議員】(班長) 小杉崇浩(副班長・司会) 中田哲
今北義明、長尾明憲、小山裕久、村手秀樹、橋本維文



テーマ

新病院建設費用の概算額が521億円と公表されたが、厳しい市の財政状況の中、病院経営を維持し続けられるのか。

深刻な医師不足により、夜間救急や小児医療の体制維持が難しくなっている。市は、市民の命を守るためには再編統合による新病院計画の推進が必要であり、財政面については、より有利な国の財源の活用や県、神戸市からの支援を受けることで市の負担軽減を図るとしている。医療と財政を両立させるため、さらなる努力を市に求めていく。

= 参加者 = 議員

特集

三田市高校生議会



地域に愛着や関心を持ち、まちづくりに参加する意欲を高めるとともに、将来にわたって三田市に住み続けたいと思えるまちづくりに生かすことを目的に、1月26日に高校生議会が開催されました。市内9校から20名の高校生が参加し、市政に対する質問・提案を行いました。

どんな質問をしたの?

議長

(前半) 北摂三田高校 猪井 成琉さん
(後半) 三田学園高校 伊坂 佑介さん



学校名・議員名	質問・提案事項
ひまわり特別支援学校 川崎 悠大さん	人と人がふれあえる社会に
有馬高校 竹内 昊さん	三田市の明るい街づくりについて
有馬高校 三谷 芽衣さん	三田市の防災意識向上について
三田西陵高校 山本 琉煌さん	給食の力で人口を増やそう
クラーク記念国際高校 齊藤 貴さん	三田を知るきっかけ
三田西陵高校 多田 白瑛さん	若年層へのSNSによる魅力発信について
三田学園高校 鶴田 匡樹さん	待ち時間の有効活用法
三田松聖高校 小林 優太さん	通学定期代の補助による教育費へのサポートについて
三田祥雲館高校 出水 朝陽さん	「高齢者の移動支援サービス」について
三田学園高校 江川 心悠さん	空き家を活用した教育施設について
三田松聖高校 村西 孝太郎さん	高齢者の自由な移動によるまちの魅力向上について
有馬高校 名手 奏太さん	三田市の農業活性化について
クラーク記念国際高校 齋藤 詠空さん	不登校も含むすべての子どもがつながる場所をつくることについて
有馬高校 小畑 葵衣さん	木漏れ日であふれる里山保全を目指して
北摂三田高校 齋藤 彩夢さん	皆が安心して移動できる街
三田西陵高校 山迫 幸輝さん	男女での役割を固定しないために社会ができること
三田祥雲館高校 谷川 心陽さん	三田市における保護猫活動について
上野ヶ原特別支援学校 山口 真尚さん	三田市民がたくさん笑って幸せになってほしい

高校生議員の皆さんに聞きました

立候補した理由

- どのように解決すればよいか課題に感じていたことがあり、市に現状を知ってもらえる機会だと思った
- 探求授業で調べた市の課題を伝えたかった
- 先生に勧めてもらい、以前から感じていた課題について意見を伝えるチャンスだと思った
- めったにない貴重な機会なので挑戦してみたいと思った など

高校生議会を終えた感想

- 多様な考え方を持つ同世代と交流することで刺激を受け、考えの幅が広がった
- 今まで市の課題や現状について深く考える機会がなかったので貴重な経験となった
- 以前から思っていたことを伝え、真剣に答弁してもらえたので嬉しかった
- 次の機会があればさらにアップデートして挑戦したい
- 新しい価値観や考え方を得られた
- この経験を将来に生かしたい
- 緊張したが楽しかった
- 達成感があった
- 議会の様子を知ることができ、政治に興味がわいた など

議長講評

高校生議員の皆さんからそれぞれのまちづくりのご提案を聞かせていただきましたが、身近なものから市全般にわたるものまで、若い皆さんの目線での素晴らしいご提案だったと思います。

また、三田市民がもっと笑顔になり、幸せに暮らせるまちづくりのご提案がありましたが、私たち市議会議員もこのことを根底において日々活動しており、非常に感銘を受けました。

発表に至るまでの高校生議員の方々の深い学びと三田のまちの課題に向き合ったご提案に大きな拍手を送りたいと思います。

(三田市議会議長 福田 秀章)

詳細は、右記二次元コードからご覧いただけます。▶

